

平成29年9月29日発行

せんなんネットワーク



第118号

発行：みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部

平成29年度仙南支部委員会を開催しました。

平成29年8月4日(金)に宮城県大河原合同庁舎でみやぎ地域づくり団体協議会仙南支部委員会を開催し、平成28年度事業実績及び収支決算報告、平成29年度の事業計画や仙南支部の役員改選等について協議を行いました。

今年度の交流会などの事業計画について

今年度事業計画では、支部交流会を10～11月頃に開催することが承認されました。昨年度柴田町で開催した交流会では講話とワークショップを行い、会員以外にも地域おこし協力隊員や行政職員など多くの方に参加いただき、高評価をいただきました。今年度の交流会については、11月中旬頃の開催を予定しており、団体活動の活性化、官民協働による地域活性化といった、出来るだけ多くの会員の皆様に参加していただけるようなテーマを検討しています。

また、各市町の委員からは、地域活動を行っている団体への市町独自の助成制度や、地域おこしの拠点、地域の活性化に向けた取組みなどを紹介いただきました。

事務局では助成制度や各種セミナーの案内など様々な情報を皆様にお届けし、地域づくり活動の一助となれるよう取り組んでいくとともに、地域づくり団体と市町等の行政機関が連携し、今後ますます仙南支部が活性化していけるよう尽力してまいります。

支部活性化に向けた役員改選

仙南支部の役員の任期は2年間となっており、今年度は役員改選の年となっておりました。これまで仙南支部長は大河原地方振興事務所 地方振興部長が務めてまいりましたが、地域づくりの主役は民間団体の皆様であることから、このたびの役員改選をうけ支部長を民間団体の方々に務めていただくことになりました。

支部長には、これまで副支部長を務められていたNPO法人川崎町の資源をいかす会の理事 菊地重雄さんが就任されました。菊地さんは、「この協議会には民間団体と行政組織が加入していることから、官民の具体的な連携の場としてこの協議会の活性化を図っていきたい。また、仙南支部には様々な活動を行っている団体があるため、ジャンルごとの団体の関係性を強めていきたい。」と今後の抱負を語られていました。

副支部長には、これまで支部委員を務められていたNPO法人蔵王のブナと水を守る会の理事長 白内恵美子さんが就任されました。白内さんは、「会員団体間の交流を推進していきたい。また、支部長へのサポートを行っていきたい。」と今後の抱負を語られていました。

なお、事務の円滑化を図るため、大河原地方振興事務所 柴崎地方振興部長も副支部長を務めることになりました。

平成29年度仙南支部役員・委員体制（敬称略）

<仙南支部役員>

支部長	NPO 法人川崎町の資源をいかす会	理事	菊地 重雄
副支部長	NPO 法人蔵王のブナと水を守る会 宮城県大河原地方振興事務所	理事長	白内 恵美子
監事	仙南広域行政事務組合 企画財政課	地方振興部長	柴崎 裕子
		主事	村上 良美

<仙南支部委員（民間）>

南蔵王高原1・2・3の会	代表	津村 経夫
NPO 法人小十郎まちづくりネットワーク	事務局	村上 典彦
TAKE1060（たけとうろう）プロジェクト	事務局	玉手 孝行

（この他、仙南支部委員（行政）として、各市町から地域づくり担当者が1名ずつ就任しています）

地域の情報

～地域おこし協力隊通信 Vol.3～

今年度、仙南地域に新たに着任した「地域おこし協力隊」を紹介します。

？地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化などに悩む地方自治体が都市住民を受け入れて、農林業の応援や住民の生活支援などの活動を行ってもらいながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

川崎町

澁谷 剛さん



協力隊就任と同時期に完成した町の施設SPRINGに常駐し、施設の管理運営、起業、移住定住関連業務を行いながら移住ツアーなどの各種イベント企画運営や自らの起業準備をしています。

また、自らの野菜作りや町行事、町内サッカークラブ参加からも沢山のことを日々学ばせてもらっています。今後とも、町の歴史、風土なども尊重しながら新しい風を吹かせられるよう日々活動していきます。

菊地 麻衣子さん

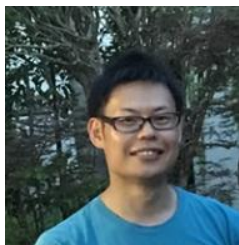


東京都から移住してきました菊地麻衣子です。自然豊かな場所で暮らしたいと考えていたところ、協力隊の募集があり応募させていただきました。

現在SPRINGという施設に常駐し、川崎町での起業と移住のサポートができるよう勉強中です。任期後は地域に根ざした、自然に関わることを仕事にしていけたらと考えています。

丸森町

谷口 泰生さん



今年の4月から丸森町地域おこし協力隊として活動しています。

丸森駅に開設した移住定住サポートセンター“じゅーびたっ”で移住者のサポート業務にあたっています。

少しでも地域が明るくなるよう「楽しく仕事をする事」をモットーに、住民の方と新規移住者との懸け橋となるよう頑張っています。

加藤 摩周さん



今年の5月より丸森町耕野地区で地域おこし協力隊として活動しています。

現在、地域で取り組んでいる様々な活動のサポートやSNSでの情報発信を行っています。

今後は、地域資源を活用した商品作りや、大学生をはじめとした若者世代との交流人口の増加を図り、地域活性化に貢献していきたいと思っています。

○事務局では地域の活性化に向けて頑張っている他市町の地域おこし協力隊の活動についても、紹介していきます！

支部会員が大臣表彰を受賞！

みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部の2団体が以下の大臣表彰を受賞しました。各団体の代表者様からこのたびの受賞について、お話を伺ってきました。

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰

NPO法人蔵王のブナと水を守る会【白石市】

NPO法人蔵王のブナと水を守る会が、4月28日（金）に東京都で行われた「みどりの式典」において、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞されました。この賞は、緑化推進運動の実施について顕著な功績のあった個人、団体を表彰するものです。

同会はこれまで南蔵王の荒れ地を広葉樹林の森林にするため、様々な活動を行ってきました。一般の方から資金を募り自然環境を保護しようとするナショナルトラスト運動として13.7haの荒れ地を取得し、植林祭を開催するなど、平成25年までに4万本もの植林を行いました。その後は、育林に取り組み、順調に生育した箇所には、一般の方々が自然と触れ合うことが出来る自然観察路を3コース整備しました。また、毎月末には森づくりの技術を伝えるため、「森の教室」を開催しています。このような緑化推進活動が称えられ、今回の受賞となりました。

理事長の白内さんは、「このような最高の賞を受賞することができましたのも、発足以来多くの皆様のご支援とご協力を頂いたお陰です。みどりの式典終了後のレセプションでは天皇皇后両陛下とブナについてお話する機会があり、大変光栄でした。今後はイベントの開催に力を入れ、多くの皆様に自然観察路の散策やツリーハウスで遊んで頂き、森づくりに関心を持ってもらえるよう活動してまいります。どうぞ、私たちの森へ遊びにいらしてください。」とお話されていました。



みどりの式典の会場入り口にて 代表の白内さん

文部科学大臣表彰

遠刈田エコー母親クラブ【蔵王町】

遠刈田エコー母親クラブが、4月23日（日）に東京都で行われた「子ども読書の日記念 子どもの読書活動推進フォーラム」において、文部科学大臣表彰を受賞されました。この賞は、読書の推進に資するため優れた取組を行っている学校や図書館、団体を表彰するものです。

同会は平成12年から遠刈田小学校の全学年の児童を対象に絵本の読み聞かせを行う「まめころりん活動」として授業前の朝読書の時間を利用して月に1回読み聞かせを行ってきました。このような活動が認められ、今回の受賞となりました。このような活動以外にも、「地域で子どもを育てていくこと」を目的に、地区の夏祭りを開催したり、仮装盆踊り大会に参加したりと精力的に活動されています。

代表の金峯さんは「子どもたちの笑顔が見たいという一心でこれまで活動を頑張ってきました。そうした取組みをこのような形で認めていただき、本当に嬉しく思います。このたびの表彰は団体のメンバー及び小学校や周りの皆様の御協力のお陰であり、感謝の気持ちでいっぱいです。この受賞を励みに今後も活動していきたいです。」とお話されていました。



代表の金峯さんほか、遠刈田エコークラブの皆さん

お知らせ

助成事業に関する情報

地域づくり団体全国協議会助成事業

- ・助成対象団体…全国協議会登録団体(前年度助成を受けた団体及び登録後1ヶ月未満の団体を除く)
- ・交付申請受付期間…平成29年12月31日まで ※助成金の累計額が予算額に達し次第受付終了

○地域づくり団体支援事業

- ・助成対象事業…自主的・主体的な地域づくりのために講師等を招聘して開催する研修会等の事業
- ・助成対象経費…(1)謝金 <限度額10万> (2)旅費 <限度額10万円>
※(1)と(2)を合わせて15万円が助成上限

○地域づくりクラウドファンディング事業

- ・助成対象事業…自主的・主体的な地域づくりのためにクラウドファンディングを活用する事業
- ・助成対象経費…(1)アドバイザー招聘費 <限度額15万円> (2)広報費 <限度額15万円>
(3)返礼品作成費 <限度額10万円> (4)支払い手数料<限度額10万円>
※(1)と(2),(3)を合わせて25万円が助成上限

※クラウドファンディングとは…様々な取組みを実施するために必要な資金提供を、インターネット等を用いて不特定多数の方々へ呼びかけること。

申請をご希望の方は、研修会等の実施及び、クラウドファンディングによる支援募集開始の2ヶ月前までに仙南支部事務局までお問い合わせください。

申請様式等は、「一般社団法人地域活性化センター 地域づくり団体のひろば」ホームページからダウンロードできます。

https://www.jcird.jp/index.php?option=com_content&view=article&id=137&Itemid=686



事務局からのお知らせ

情報提供にご協力をお願いします

仙南支部では、地域づくりに関するイベントや参加者募集など、皆さまからいただいた情報を支部ホームページに随時掲載します。また、チラシ等がありましたら、大河原合同庁舎内をはじめ、管内の集客施設等に設置させていただきます。PRしたい情報がありましたら、下記の宛先までお送りください。皆さまからの情報提供をお待ちしております。

会員訪問を実施しています

仙南支部事務局では、会員の皆様の活動状況等についてお伺いするため、会員訪問を実施しています。訪問の際は、事務局から皆様に連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本紙についての御意見や、当支部についての御意見・御要望等ありましたら、こちらまでお寄せください。

《みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部事務局》

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部 商工・振興第一班
〒989-1243 宮城県柴田郡大河原町字南 129-1
電話 0224-53-3199 FAX 0224-53-3076
e-mail oksinbk@pref.miyagi.lg.jp
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/tekiidukuriindex.html>

